

C F C 教科別シラバス

教科名：カメラワークス ファッション流通学科 2 年 1 単位（52.5 時間/週 1.5 時間）

授業の解説（担当はプロカメラマンやモデル事務所での実務経験者）

一眼レフカメラやスマホを使用した基本操作、撮影方法や、スタジオ機材（ストロボ照明）の使用方法を学び、**Photoshop** やスマートフォンなどでの写真のレタッチ行い、カメラ機材の操作や CG 処理での写真の修正技術を習得。

使用機材

一眼レフカメラ(Canon EOS7D、Kiss X2、EOS30D)

ストロボ

アイランプ（タングステン）

レフ板

スマートフォン

カリキュラム・スケジュールの概略

・撮影テーマ

一眼レフカメラやスマートフォンの基本操作方法

実習物のコーディネート撮影（スタジオ）

屋外での撮影方法について（外）

クリスマス・スタイリング撮影（スタジオ）・CG 処理

卒業作品コーディネート撮影（スタジオ・外）・CG 処理

C F C 教科別シラバス

教科名：カラーコーディネート論 ファッション流通学科 1 年 1 単位 (52.5 時間/週 1.5 時間)

授業の解説

色彩に関する基礎知識を 3 級公式テキストに沿って講義する。

色彩調和の学習では基本的な配色テクニックを学んだ後、カラーカードを使用し実際に配色実習を行なう。

2 級・1 級を学ぶ時ときの重要な基礎となるので、しっかり覚えてもらうためにスモールテストを随時行なう。

評価基準

出席日数、授業態度、演習課題、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『パーソナルカラリスト検定 3 級公式テキスト』

参考文献

『パーソナルカラリスト検定 3 級問題集』日本カラリスト協会・色彩文化対策プロジェクト編著

カリキュラム・スケジュールの概略

第 1 章 色彩と文化

- ・四季の自然を表す色
- ・日本の色の歴史
- ・色と生活
- ・色の種類

第 2 章 色彩理論

- ・色のしくみ
- ・CUS 表色系
- ・色の三属性と対比現象
- ・CUS 配色効果

第 3 章 色彩とファッション

- ・ファッション概論
- ・ブライダルと色彩

第 4 章 パーソナルカラー

- ・パーソナルカラー
- ・パーソナルカラーの特徴
- ・パーソナルカラー診断とスタイリング
- ・パーソナルシーズンカラー 120
- ・パーソナルカラリスト検定インフォメーション

* 検定向けテストの実施

C F C 教科別シラバス

教科名: カラーコーディネート論 ファッション流通学科 2 年 1 単位 (52.5 時間/週 1.5 時間)

授業の解説

3 級で学んだ基本知識を踏まえ、新たなカラーの知識を 2 級対策テキストに沿って講義する。
新しい表色系の授業では、3 級で学んだ内容との違いを復習を兼ねながら進めていく。
色彩調和の学習では、カラーカードで実際に配色を作ることによって理解を深める。

評価基準

出席日数、授業態度、演習課題、定期試験の結果を総合的に評価する。

使用テキスト

『パーソナルカラリスト検定 2 級公式テキスト』

参考文献

『パーソナルカラリスト検定 2 級問題集』日本カラリスト協会・色彩文化対策プロジェクト編著

カリキュラム・スケジュールの概略

第 1 章 色彩と文化

- ・染料・染色と顔料
- ・ヨーロッパの色の歴史

第 2 章 色彩理論

- ・混色
- ・照明と色
- ・色の知覚効果
- ・基本的な配色テクニック

第 3 章 CUS 配色調和理論

- ・CUS 表色系における配色調和とアンダートーン

第 4 章 色彩を活かすテクニック

- ・ファッション概論
- ・ファッションとイメージワード
- ・ディスプレイと色彩
- ・インテリアと色彩

第 5 章 パーソナルカラー

- ・パーソナルシーズンカラーとスタイリング
- ・ファッション用語解説

* 検定向けテストの実施

C F C 教科別シラバス

教科名：ショッピングマスター論 ファッション流通学科 2 年 3 単位（105 時間/週 3 時間）

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

グループにより、オリジナルブランドを立案し、実際に商品MD、商品製作、販促、販売まで体験し、係数管理等、結果をまとめて反省し、分析を行う。

評価基準

出席率、授業態度、グループでの活動等、総合的の評価する。

使用テキスト

C F C 独自のフォーマット

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・情報収集し、ブランドグループ分け
- ・イメージターゲット設定
- ・シーズンイメージ設定
- ・売上目標と商品構成
- ・基本的係数管理
- ・商品企画書作成
- ・商品製作
- ・店頭販売、イベント出展、SNS を使用しての販売
- ・販売促進活動等

C F C 教科別シラバス

教科名：スタイリスト論 ファッション流通学科 2 年 1 単位（52.5 時間/週 1.5 時間）

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ファッション販売技術を習得させる。

トレンドを知り、スタイリング提案を習得する。

売場におけるビジュアル表現を前提としたマーチャンダイジング戦略、商品の演出や陳列と
いった見せ方、役割を習得する。

評価基準

出席率、授業態度、課題提出、定期試験により総合的に評価する。

最終目標は、どんなお客様にもスタイリングのアドバイスが出来るようになる。

使用テキスト

『VMDの教科書』(株)商業界

オリジナルプリント

『ファッション販売』(株)商業界 月刊誌

トレンド分析では、雑誌の最新号・コレクション雑誌（QUOTATION）を使用

『ファッション販売 2 級』

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・春夏トレンド分析 → スタイリング調査
- ・夏のリゾートバカンスのスタイリング
- ・雑誌分析（雑誌を通してさまざまな年代やテイストのファッションを学ぶ）
- ・テーマ、TPO別コーディネート
- ・スカーフの巻き方 ・ネクタイの結び方
- ・顔型、骨格別スタイリング応用
- ・メンズビジネスコーディネート（ネクタイとシャツのコーデ）
- ・クリスマスディスプレイのスタイリング

——前期——

- ・店舗（売り場）環境作り、演出
- ・陳列
- ・売場構成
- ・VP実践
- ・特別講師授業

——後期——

- ・小物ディスプレイ
- ・シーズンディスプレイ
- ・特別講師授業
- ・VMD学年末試験
- ＜ディスプレイ演習＞
- ・オケージョンマップ
- ・ディスプレイアイテム企画
- ・まとめ

C F C 教科別シラバス

教科名：スタイリング造形 ファッション流通学科 1 年 14 単位 (472.5 時間/週 13.5 時間)
<u>授業の解説</u> (担当はアパレル企業での実務経験者) 被服製作の為の基礎知識、製作技術を学ぶ。 (実寸パターン・縫製)
<u>評価基準</u> 出席率、授業態度、課題提出物により総合的に評価する。
<u>使用テキスト</u> 『接着芯の本』 文化出版局 } 文化ファッション大系 文化服装学院編
<u>カリキュラム・スケジュールの概略</u> ——前期—— ・ 定規袋 (パターン・縫製) ・ ギャザースカート (パターン・縫製)・デザインスカート (経験者クラスのみ) ・ 身頃原型補正 (パターン・仮縫い) ・ 基礎縫い ・ 部分縫い (カギ明き・コの字明き・縫い目明き・シャーリング・折伏せ縫い・袋縫い etc) ・ 規定ワンピース (パターン・縫製) ——後期—— ・ パンツ (ベルト通し、ポケットベルト付け、本股明き) (パターン・縫製) ・ 部分縫い (シャーリング、etc) ・ テーラードジャケット (裏無し・肩パッド有・二枚袖・袖口明き見せ・肩パットのくるみ) (パターン・縫製) ・ 帽子 ・ C F C ファッションコンテスト作品 (パターン・縫製) ・ 部分縫い (釦ホール・テープを使った始末) ・ スカート (裏付き、後ろファスナーベンツ明き (パターン・縫製))

C F C 教科別シラバス

教科名：スタイリング造形 ファッション流通学科 2 年 8 単位 (262.5 時間/週 7.5 時間)

授業の解説 (担当はアパレル企業での実務経験者)

リサーチを通じて集めた情報を整理・分析し、テーマに基づきデザインした作品を原型から作図・シルエット点検・縫製し、ファイリングして提出する。

情報分析にはマーチャンダイジング担当教員、講義内容は講義担当教員に一任する。

また、パターンを作図すると同時期に、C A D にて同じ作図を書く。

現在のアパレルのスピードと完成度により近づける基礎知識を増やす。

評価基準

出席率・課題提出率・プレゼンテーション・授業態度を加味し、
課題提出物の出来具合を 50 パーセントの評価内容として総合的に評価する。

使用テキスト

『スカート・パンツ』

『スーツ・ベスト』

『特殊素材』

文化ファッション大系 文化服装学院編

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・スカート
- ・シャツブラウス
- ・ジャージー素材の作品(ミシン講習会)

——後期——

- ・パンツ
- ・パニエ (1/2)
- ・子供服
- ・C F C F A S H I O N C O N T E S T 作品

C F C 教科別シラバス

教科名：パソコン演習 ファッション流通学科 1 年 1 単位（52.5 時間/週 1.5 時間）

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

コンピューターグラフィックスの基本原理を習得し、その技術を適切に利用できるようになることを目指し、Photoshop を使いこなすための機能を、実践を交えて進めていく。

使用テキスト

機能ごとのオリジナルプリント

使用ソフト

Photoshop C C

カリキュラム・スケジュールの概略

1. パス
2. 選択範囲
3. 着色設定
4. テキスト入力
5. 印刷方法

Photoshop を使用してヴィジュアルマップを制作する。

C F C 教科別シラバス

教科名：パソコン演習 ファッション流通学科 2 年 1 単位（52.5 時間/週 1.5 時間）

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

コンピューターグラフィックスの基本原理を習得し、その技術を適切に利用できるようになることを目指し、Photoshop を使いこなすための機能を、実践を交えて進めていく。

使用テキスト

機能ごとのオリジナルプリント

使用ソフト

Photoshop C C

カリキュラム・スケジュールの概略

1. パス
2. 選択範囲
3. 着色設定
4. テキスト入力
5. 印刷方法

Photoshop を使用してアパレル企業でのヴィジュアルマップを制作する。

C F C 教科別シラバス

教科名: ファッションコーディネート論 ファッション流通学科 2 年 1 単位 (52.5 時間/週 1.5 時間)

授業の解説 (担当はアパレル企業での実務経験者)

ファッションアドバイザーとしての、商品アイテム名・ディテール名の知識の習得。
トレンドアイテムの知識と、ハンガーイラスト・コーディネートのポイントを学ぶ。
トータルにイメージを表現するためには、ヘアー&メイクの知識も必要。
スキンケアから、ショーメイクまで基礎知識とテクニックを学び、
トータルコーディネート力を強化する

評価基準

出席率、授業態度、課題提出により総合的に評価する。

使用テキスト

『コーディネートテクニック アパレル編 I (商品知識)』 文化出版局
『ファッション販売』 (株)商業界
トレンド雑誌

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・ A/Wトレンド情報&S/Sトレンド情報(MAP 作成)
- ・ A/W トrendにあったコーディネート・ヘアー&メイク
- ・ S/S トrendにあったコーディネート・ヘアー&メイク
- ・ 夏 トrendコーディネート・ヘアー&メイク
- ・ 浴衣コーディネート・ヘアー&メイク
- ・ 相コーディネート・ヘアー&メイク (イメージチェンジ)
- ・ クリスマスコーディネート・ヘアー&メイク
- ・ 就職活動用コーディネート・ヘアー&メイク
- ・ ブラウス、ワンピース、スカート、コート、フォーマルについて
アイテム, ディテール
- ・ 商品知識
紳士服、子供服、ジーンズウェア、インナーウェア、ニットアウターウェア等

C F C 教科別シラバス

教科名：ファッションデザイン画 ファッション流通学科 1 年 3 単位 (105 時間/週 3 時間)

授業の解説 (担当はアパレル企業での実務経験者)

ファッションを生み出すとき、その表現法として必要なデザイン画、ハンガーイラスト、アイテム、ディテール名称も交え、着装・着色が出来ることを目標とする。
実践的なポップ用のアニメーションイラストの習得

評価基準

出席率、授業態度、テーマ毎に提出する作品の完成度により総合的に評価する。

使用テキスト

「ファッションデザイン画」 文化ファッション大系 文化服装学院編

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・プロポーションのとり方
- ・ポーズのとり方
- ・ハンガーイラスト (アイテム図) の描き方
- ・着装の方法
- ・絵具着色技法・ペン入れ
- ・写真を使った練習 (写真デッサン)
- ・素材感の表現法
- ・アニメーションイラストやポップ用イラストを描く

C F C 教科別シラバス

教科名：ファッションマーケティング論 ファッション流通学科 1 年 1 単位 (52.5 時間/週 1.5 時間)

授業の解説 (担当はアパレル企業での実務経験者)

ファッションマーケティングの基本を講義と演習により習得。

オリジナル商品を企画立案し、企画書作成から、商品製作、プレゼンテーションまでの一貫した流れの中で習得、理解する。

評価基準

出席率、授業態度、課題提出物、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『ファッションマーケティング』 ファッション教育社

『ファッションビジネス能力検定試験 3 級ガイドブック』

財団法人日本ファッション教育振興協会

参考文献 ファッションニュース・ファッション雑誌

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・ファッションマーケティングの定義
- ・ファッション業界の職種説明
- ・ワードローブプラン
- ・消費者行動
- ・ファッション生活空間
- ・ファッションとライフスタイル
- ・トレンド感性
- ・ライフスタイル変化
- ・A/Wトレンド分析

——後期——

- ・マーケティングの基礎知識
- ・市場調査の基礎知識
- ・百貨店市場調査
- ・ターゲットイメージ企画
- ・ターゲット分析
- ・ブランドイメージ企画
- ・シーズンイメージ企画
- ・アイテム企画
- ・プレゼンテーション

C F C 教科別シラバス

教科名: ファッションマーケティング論 ファッション流通学科 2 年 1 単位 (52.5 時間/週 1.5 時間)

授業の解説 (担当はアパレル企業での実務経験者)

ファッションマーケティングを踏まえ、マーケットリサーチ・雑誌分析を行い、オリジナルブランドの立ち上げのための知識技術を習得し、プレゼンテーション能力を身に付ける。

評価基準

出席率・授業態度・課題提出物・プレゼンテーション能力により総合的に評価する。

使用テキスト

『ファッションニュース』(株)インファスパブリケーションズ

参考文献

『アパレルマーチャンダイジング』ファッション教育社

『ファッションマーケティング』 //

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・マーチャンダイジングの仕事内容について プロセスの説明・情報の分類と収集
- ・商品ブランドイメージマップ
- ・ターゲット企画
- ・ターゲット分析
- ・ブランドタグ・ショッピングバック企画
- ・A/Wトレンド分析
- ・S/Sトレンドテーマ
- 〔商品・素材
アイテム展開企画
DM・ネーム・バッグ
コーディネートプラン
プレゼンテーション〕
- ・A/Wトレンドテーマ
- 〔商品・素材
アイテム展開企画
コーディネートプラン
プレゼンテーション〕
- ・S/Sトレンド分析

C F C 教科別シラバス

教科名：ファッション販売 ファッション流通学科 1 年 7 単位（105 時間/週 3 時間）

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ファッション商品販売の仕事に携わる場合に必要とされる基本的なファッション商品知識、販売知識、接客技術などを習得

評価基準

出席率、授業態度、課題提出、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『ファッション販売 I』3 級 財団法人 日本ファッション教育振興協会

『ファッション販売能力検定試験問題集 3 級』財団法人 日本ファッション教育振興協会

『WWD ジャパン』 『繊研新聞』

『ファッション販売』（月刊誌）

カリキュラム・スケジュールの概略

A 科目

- ・ファッション販売知識
職業に就くことの意味
- ・ファッション販売業務
販売スタッフの仕事
販売スタッフの事務
販売スタッフの商品管理

B 科目

- ・店舗演出・VP 展開
店舗(売り場)環境作り
店舗(売り場)演出
ウェアリング(着こなし方)の提案
陳列

『ファッション販売』・・・時事内容

C F C 教科別シラバス

教科名：ファッション販売 ファッション流通学科 2 年 10 単位 (157.5 時間/週 4.5 時間)

授業の解説 (担当はアパレル企業での実務経験者)

専門的な販売知識や接客技術を習得し、販売実務である程度、実績と経験を積み、
臨機応変な接客対応と販売、事務処理など習得。

評価基準

『ファッション販売能力検定試験』2 級の合格が基本。
出席率、授業態度、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『ファッション販売Ⅱ』2 級 財団法人 日本ファッション教育振興協会
『ファッション販売能力検定試験問題集 2 級』財団法人 日本ファッション教育振興協会

カリキュラム・スケジュールの概略

A 科目

ファッション販売知識

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. ファッションビジネスの知識 | 2. ファッション小売業の構造と特性 |
| 3. 小売店のしくみ | 4. お客様に関する知識 |
| 5. ファッション・コーディネートに関する知識 | |
| 6. 企業人の基本 | 7. ファッショントレンド、流行の知識 |
| 8. デザイン、生活文化、消費の知識 | 9. ブランド・コンセプト |
| 10. アパレル商品企画の理解 | |

ファッション・マーケティング知識

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. ファッション・マーケティング知識 | 2. リテール・マーケティング |
| 3. プロモーション | 4. 情報マネジメント |

ファッション販売業務

- | |
|-------------|
| 6. お店での計数知識 |
|-------------|

C F C 教科別シラバス

教科名：西洋服装史 ファッション流通学科 1 年 3 単位 (52.5 時間/週 1.5 時間)

授業の解説

人類が衣服をまとうようになった古代エジプトから 19 世紀末までの時代的背景とファッションとの関連について学ぶ、プロジェクターやビデオ等を使用しながら各時代のファッションを理解する。

評価基準

出席率、授業態度、定期試験により評価する。

使用テキスト

『服飾造形の基礎』 文化ファッション大系 文化服装学院編

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・ 西洋服装史を学ぶ意義
- ・ 古代エジプト：ロインクロス、パーニュ、チュニック、カラシリスなどについて説明
- ・ 古代ギリシア：ドーリア式・イオニア式キトン、ヒマティオンなどについて説明
- ・ 古代ローマ：ストラとパルラ、トゥニカとトーガ、時代の盛衰と衣服の分量との関係について説明
- ・ ビザンティン：ダルマティカ、パルダメントウムなどについて説明
- ・ ロマネスク：シェーンズ、ブリオー、マントルなどについて説明
- ・ ゴシック：コットとシュールコ、プールポワンとショースとプーレーヌ、ウブランドコタルディとシュールコトウベール、エナン帽とローブなどについて説明
- ・ ルネサンス：イタリアモード、スペインモード、フランスモード、イギリスモードなどについて説明 史上初めての腰枠ヴェルチュガダン登場
- ・ バロック：オランダモード、ルイ 14 世時代のフランス宮廷モードなどについて説明
- ・ ロココ：ルイ 15 世、ルイ 16 世時代のフランス宮廷モードなどについて説明 史上 2 番目の腰枠パニエ登場
- ・ 執政政府：アंकロワイヤブル・メルヴェイユーズといった風変わりなファッションをした男女の服装などについて説明
- ・ 第一帝政：ナポレオン一世の時代、ジョセフィーヌを中心に華麗な宮廷モード(ローブ・ド・クール、エンパイア・ドレスなど)について説明
- ・ 王政復古：ルイ 18 世の時代、女子服のウエストはコルセットで再び細くなる。男子服はダンディズムを確立したジョージ・ブライアン・ブリュンメルのダンディについて説明
- ・ 第二帝政：ナポレオン 3 世の皇妃ウージェニーのファッションに携わったオートクチュールの創始者シャルル・フレドリック・ウォルトについて説明 史上 3 番目の腰枠クリノリン登場 今日の背広服の原型が築かれた
- ・ 世紀末：史上 4 番目の腰枠バスル登場 日本においては鹿鳴館スタイルともいわれる子供らしい子供服が誕生

C F C 教科別シラバス

[illegible]

C F C 教科別シラバス

教科名：素材論

ファッション流通学科 1 年

3 単位 (52.5 時間/週 1.5 時間)

授業の解説 (担当はアパレル企業での実務経験者)

ガーメントを構成する大きな要素の 1 つである素材。ファッション業界を志す学生たちに欠かすことの出来ない素材の基本的な知識の習得を目指す。

ファッション流通学科の授業では、消費者の視点に立って講義を進めます。

評価基準

出席率、授業態度、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

『知りたかった繊維の話』

株式会社東レ経営研究所

服地の基本がわかる『テキスタイル辞典』

ナツメ社

テキスタイルハンドブック

スクラップブックで手作り

ファッション販売 3

日本ファッション教育振興協会

カリキュラム・スケジュールの概略

1. 繊維原料について
 - ・天然繊維
 - ・化学繊維
2. 糸について
 - ・糸の長短
 - ・糸の太さ、撚り
 - ・紡績糸、加工糸
3. 織物について
 - ・織物の構造
 - ・三原組織
4. 柄の名前
5. 産地研修 (尾州産地を予定)

教科名：素材論 ファッション流通学科 2 年 3 単位 (52.5 時間/週 1.5 時間)

授業の解説 (担当はアパレル企業での実務経験者)

1 年生に引き続き基礎編のまとめを行う。

但し、2 年生では理論と実践の同時進行が最大のテーマ。

素材学としての理論的基礎を徹底しつつ、常に多数の素材に触れることで、衣服と素材との関係を確認。

更に、最新の素材、業界でおこっている新しい素材分野の定義 (ルール) を紹介することで、即戦力としての素材学を身につける。

評価基準

出席率、授業態度、定期テストにより総合的に評価する。

使用テキスト

『知りたかった繊維の話』

株式会社東レ経営研究所

服地の基本がわかる『テキスタイル辞典』

ナツメ社

テキスタイルハンドブック

スクラップブックで手作り

ファッション販売 2

日本ファッション教育振興協会

カリキュラム・スケジュールの概略

1. 織物について

綿、毛、絹の素材名

2. ニットについて

成形商品とカットソー

編み地について

ジャージーの素材名

3. その他の素材 (レース、不織布、皮革、毛皮)

4. 素材の染色について

5. 素材の仕上げ加工 について

6. 素材の表現 風合いの感覚表現

7. アイテムごとの主要素材

C F C 教科別シラバス

教科名：立体裁断 ファッション流通学科 1 年 3 単位（105 時間/週 3 時間）

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

立体裁断は、よいパターンを作ることが究極の目的である。

正しく布目を読み取る視覚の重要性を認識させた上で、一枚の布を適切に扱って基本のシルエットを表現出来るようにする。

評価基準

- ・ 基礎的な部分（ピンの打ち方、地の目線の直し方、トワルの扱い方）が習得出来ているか。
 - ・ 適切な方法で決められたシルエットになっているか。
 - ・ 出席日数、授業態度、定期試験
- 以上を総合的に評価する。

使用テキスト

『立体裁断 基礎編』 文化ファッション大系 文化服装学院編

『プリント』 立体裁断研究書「パターンメイキングの原理」大野順之助著

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・ 立体裁断について
- ・ ボディ、ピンの打ち方、地の目直しの説明
- ・ ストレートスカート（ドレーピング、ドラフティング）
- ・ Aラインスカート（ドレーピング、ドラフティング）
- ・ フレアースカート（ドレーピング）

——後期——

- ・ 身頃原型（タイトシルエット、ドレーピング、ドラフティング）
- ・ 身頃原型利用してダーツ移動、タック、ギャザーに展開
- ・ オーバーブラウス（ドレーピング、ドラフティング） 衿つけ
- ・ 学年末試験として、オーバーブラウスを規定時間内に組み上げる。

C F C 教科別シラバス

教科名：立体裁断 ファッション流通学科 2 年 1 単位（52.5 時間/週 1.5 時間）

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

1 年の題材を基礎とし、各種アイテム、及びディテールを立体裁断にて表現し、ファーストパターンを作成する。

評価基準

- ・デザイン画に対し適正なシルエットに組み立てられているか。
 - ・地の目、ピン打ちが的確に扱われているか。
 - ・出席日数、授業態度、定期試験
- 以上を総合的に評価する。

参考文献

- 『立体裁断 基礎編』 } 文化ファッション大系 文化服装学院編
『デザイン画』 }
『パターンメイキングの原理』 大野順之助著
『近藤れん子の立体裁断と基礎知識』 モードエモード社

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・タックインブラウス（フラットカラー）
- ・オーバーブラウス（パターンメイキング 3 級より 2 型）
- ・デザインワンピース
- ・ブラウス又はワンピース（前期単位認定試験）
- ・プリンセスラインの原型
- ・ボックスシルエットのジャケット
- ・ショールカラーのプリンセスラインのジャケット
- ・テーラードカラーのジャケット（パネルライン・2 枚袖）
- ・ヨーク切替えのタックスカート又はボックスプリーツ
- ・オリジナルデザインワンピース
- ・学年末単位認定試験

C F C 教科別シラバス

教科名：流通経済 ファッション流通学科 2 年 3 単位（52.5 時間/週 1.5 時間）

授業の解説（担当は金融企業での実務経験者）

株価為替表の意味を理解し、日々の授業や生活に経済学的視点を持つ習慣を身につけさせる。
 株価為替表を利用しつつ、時々のビックニュースを交え経済学の視点から商品の動きや企業の将来性を予測し、自身の企業貢献や働き方について意見を持てることを目指します。

評価基準

出席率、授業態度、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

- ・新聞、ニュースなどの媒体から適宜引用、プリント物で配布
- ・『図解 池上彰の経済「超」入門』 毎日新聞社
- ・株価為替表
- ・新聞、ニュースなどの媒体から適宜引用、プリント物で配布
- ・『大学 4 年間の経済学が 10 時間でざっと学べる』 (株)KADOKAWA

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・物、人、資金の三要素からなる経済学
- ・株価とは 企業とは 景気とは インフレとデフレ
- ・為替とは 円高と円安
- ・税金の仕組み 消費税他
- ・トピックス 年度上期のビックニュースと解説
- ・ファッション業界 年度上期のビックニュースと解説
- ・ミクロ経済学
 - 価格と需要と供給
 - 消費者の行動
 - 企業の行動
- ・マクロ経済学
 - GDP とは
 - 政府の役割、財政政策
 - 日銀の役割 金融政策
 - インフレとデフレ
- ・国内、海外のビックニュースとその影響